|  |  |
| --- | --- |
| 響流の森　だより　（園長室だより）　　 | 平成 31年2月13日附属幼稚園　第20号発 行 者　八谷俊一郎 |
| C:\Users\encho\Desktop\H30 写真\年少\劇遊び\劇遊び 014.JPG**年少さんの可愛い劇遊び**　　　２月は、１年で最も寒い月であったために、着ている衣服の上に更に衣服を着るという説もあったことから、衣更着、如月と名付けられたとか。東日本は、観測史上最強の寒波が襲来し、関東以北では大雪に見舞われ、ライフラインが混乱しているようですが、福岡は幸いなことに、比較的穏やかで、日差しに恵まれ、春の訪れを感じさせる暖かい日が続いています。そんな陽気に恵まれた２日（土）に、年少さんの劇遊びを実施しましたところ、好天のお陰で、たくさんの保護者の方に参観いただきました。遊戯室に比べると、若干手狭なオープンスペースでしたが、保護者の皆様にとっては、お子さんをすぐそばで見ることができ、むしろ、親近感を感じられたのではないかと思いました。年少さんは、大勢の保護者の皆様の前で、いつも通りの楽しい劇遊びができました。今年は、３クラスとも題材は同じ「もりのおふろ」でしたが、劇遊びをする上でベースとなるお話ですから、台本まで同じというわけではありません。劇遊びを繰り返していく中で、子どもが発する言葉を大事にしているために、３クラスとも台詞や進め方が違っています。また環境構成も学級の進め方によって多少違っていました。感心したのは、子どもたち一人ひとりが、大きな声を出して歌い、言葉を発していたことです。　　写真のうさぎの役をした子どもたちは、身振り手振りの動作が大きく、そして、大きな声を出して歌っていたので、観客から注目の的でした。劇遊びとは、台詞を暗記させて見栄えよく表現するのが目的でなく、場や雰囲気を作り，そこで出た生きた言葉を大切に育て，劇の中に取り入れ仲間と創っていくことを楽しむことだと言われています。さて、年少の劇遊びは如何でしたか？ | たんぽぽさんと楽しく遊んだよ　５日（火）～８日（金）の４日間、年中の各クラスは、セミナーハウスで、２歳児たんぽぽさんと仲良く交流しました。粘土でいろいろな形作りを教えたり、マットで一緒に飛んだり跳ねたりしながら仲良く遊んでいるお友だちもいれば、たんぽぽ学級の珍しい遊具に浸りながら、年中さん同士で遊んでいるお友だちもいました。担任が、自分たちだけではなく、たんぽぽさんと遊ぶようにと声を掛けると、流石、年中さんです、複数の年中さんが、たんぽぽさんを誘い、ダンスの曲に乗って、一緒になって踊り出しました。年中さんは、ちょっぴりお兄さんやお姉さんになった気分で、たんぽぽさんのお世話ができました。たんぽぽさんの人数よりも年中さんの人数が多いために、たんぽぽさんと組めない人が出てくるということから、最終日の８日（金）には、水曜日の弟妹児コースと金曜日コースのたんぽぽさんが合流し、年中さんと楽しく過ごしました。新年度になると、　　　　　　　　　　　　　　　　　H:\DCIM\100NCD60\DSC_0039.JPG今の年中さんが年長さんとして、年少さんの世話をすることになりますから、その時の準備ができました。年少のなりきりごっこが続いていますH:\DCIM\100NCD60\DSC_0047.JPG　先週、年少クラスを覗いてみると、カルタ取り（神経衰弱）や積み木に熱中している子どもや園庭で泥団子作りに熱中している子どもがいましたが、今でも、劇遊びの延長で、ウサギやワニの格好をしてなりきり遊びを楽しんでいる子どもを見かけました。余程、劇遊びが楽しかったのでしょうか。担任が、画用紙を切り抜いて作ったウサギの耳を帽子に付けただけなのにウサギになりきって夢中に遊ぶ年少さんを見ると、とても可愛いなと思いました。 |